

## 籠 義樹ゼミナール【経済-15 クラス】

【**題目**】社会的問題への解決策の提案

【**到達目標**】具体的な社会的問題を1つ取り上げ、その発生メカニズムを解明し、解決策・改善策を提案する。

【**講義内容**】数名からなるチームを構成し、チームごとに具体的な社会的問題を1つ取り上げ、その発生メカニズムを解明し、解決策・改善策を提案する。この成果は、関東の大学の経済系ゼミのプレゼンテーション大会である「インナー大会」において発表し、他大学のゼミと優劣を競い合う。

問題の発生メカニズムの解明においては、仮説を立て、その仮説を検証するためのアンケート調査やヒアリング調査を行う。解決策・改善策についても、その有効性をヒアリング調査等によって検証する。さらに、プレゼンテーション技術についても、その向上を図る。

### 【授業計画】

- 第1回 テーマ設定(1)
- 第2回 テーマ設定(2)
- 第3回 テーマ設定(3)
- 第4回 作業仮説の検討(1)
- 第5回 作業仮説の検討(2)
- 第6回 作業仮説の検討(3)
- 第7回 仮説の検証(1)
- 第8回 仮説の検証(2)
- 第9回 仮説の検証(3)
- 第10回 代替案の検討(1)
- 第11回 代替案の検討(2)
- 第12回 代替案の検討(3)
- 第13回 代替案の有効性・実現可能性の検証(1)
- 第14回 代替案の有効性・実現可能性の検証(2)
- 第15回 代替案の有効性・実現可能性の検証(3)

【**教科書**】適宜指示する

【**参考文献**】適宜指示する

【**評価方法**】出席と議論への参加態度(50%)＋発表(50%)

【**履修の条件**】なし

【**聴講生・科目等履修生受入**】否

【**他学科生・他専攻生受入**】可

【**他学部生受入**】否

【**当該科目に関連する開設科目**】環境科学 AB、社会工学、ファイナンス基礎、デリバティブ理論、環境政策

【**使用言語**】日本語

【**担当者からの一言**】ゼミ生の皆さんに求められるのは、解決・改善すべき社会的問題に目を向け、どうすればよいかを一生懸命考える姿勢です。考える過程を通して、問題解決能力を養います。

### 【身に付くように意識している汎用的能力】

知的な好奇心	◎
本質を理解する力	◎
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	◎
チームワークよく成し遂げる力	◎
様々な人と対話する力	◎
他者の立場と痛みを感じる力	◎
意志や情報を発信する力	◎
自ら行動する力	◎
自己を受け止める力	◎
自己反省する力	◎
自信を生み出す力	◎